

北、弾道ミサイル



北朝鮮の弾道ミサイル発射を受け、報道対応する安倍首相—29日午前5時56分、首相官邸



前3時18分ごろ、弾道ミサ

イルを発射した。日本政府によると、約53分間で約千キロ飛行、青森県西方約250キロの日本の排他的経済水域(EEZ)に落下したとみられる。到達高度は4千キロを大きく上回り過去最高。大陸間弾道ミサイル(ICBM)を高い角度で打ち上げたとみられ、米専門家は通常軌道なら飛距離は一方3千キロ以上で米全土が射程

高度4000キロ超過過去最高

日本海落下 全米射程か

北朝鮮は日本時間29日午前3時18分ごろ、弾道ミサイルを発射した。日本政府によると、約53分間で約千キロ飛行、青森県西方約250キロの日本の排他的経済水域(EEZ)に落下したとみられる。到達高度は4千キロを大きく上回り過去最高。大陸間弾道ミサイル(ICBM)を高い角度で打ち上げたとみられ、米専門家は通常軌道なら飛距離は一方3千キロ以上で米全土が射程に入るとの見方を示した。北朝鮮は米国の今月のテロ支援国家再指定に反発、核搭載可能なICBM開発の継続姿勢を鮮明にした。北朝鮮のミサイル発射は、北海道上空を通過した9月15日以来。安倍晋三首相は「断じて容認できない。圧力を最大限に高めていく」と述べた。政府は北朝鮮に嚴重抗議。国連安全保障理事会は、緊急会合を開催する方向で調整に入った。トランプ米大統領は北朝鮮の核・ミサイル開発に「対処する」と述べ、解決への決意を示した。ティラーソン国務長官は発射を「強く非難する」との声明を発表した。

通常より高い角度で打ち上げて飛距離を抑える「ロケット軌道」だったとみられ、ICBM「火星14」などの可能性がある。日本政府高官によると、ミサイルは複数に分裂した可能性がある。韓国軍によると、ミサイルは首都平壤近郊の平安南道平城付近から発射された。日本政府によると、船舶や航空機の被害は確認されていない。日本の領土や領海に落下する可能性がなかったため、自衛隊法に基づく破壊措置は実施しなかった。トランプ氏は9月19日の国連総会演説で、米国や同盟国の防衛を迫られれば北朝鮮を「完全破壊」するしかない」と警告。金正恩朝鮮労働党委員長はこれに反発し、21日の声明で「史上最高の超強硬対応措置」を検討すると表明していた。